

練習の成果を発揮して ～席書会～

1月13日(木)・14日(金)に、新年の清々しい気持ちで書に向かう「席書会」を行いました。1・2年生は教室で硬筆書初め、3年生以上は体育館で毛筆書初めに取り組みました。

子供たちは、この日に向けて、書写のめあてをもって練習を続けました。1・2年生は「姿勢を正し、鉛筆を正しく持って、文字の形に注意しながら丁寧に書くこと」。3・4年生は「漢字やひらがなの大きさに注意して文字の形を整えて書くこと」。5・6年生は「用紙全体と文字の大きさ・配列との関係に注意し、筆を運ぶ速さも意識して書くこと」です。冬季休業前から何度も練習を重ねたことで、一人一人がめあてをしっかりと心に留めて本番に臨むことができました。

1年生は、初めての席書会でした。足の裏を床にきちんとつけ、間違えないようにお手本を確かめながら書いていました。2年生は、文字のとめやおれ、まがりにも気を付けました。3年生は、毛筆を使った初めての書初めです。新聞紙を広げて書くスペースを作り、大きな用紙をずらしながら集中して書く姿が見られました。4～6年生は慣れたものです。自分のペースでじっくりと紙に向かい、出来上がった作品を見比べて、納得のいく1枚を提出していました。体育館の空気がピンと張りつめ、席書会の雰囲気自分たちでつくる様子は、さすが高学年！と感心しました。つくし学級では、この日の前に新年恒例の干支アートにチャレンジし、当日の書初めにも楽しく取り組んでいました。

書き初め展に並んだ文字からは臨川小の子供たちの心の明るさや伸びやかさが見て取れ、大人も元気をもらうことができました。



初めての書初めに臨む1年生



体育館での取り組みの様子



廊下展示



4年生 外国語 校外学習 「Tokyo Global Gateway」

1月24日(月)に実施されたTokyo Global Gateway (TGG)では、体験学習プログラムを通して、積極的に英語を話すことに挑戦しました。「アトラクション・エリア」では、レストラン、ホテル、ファストフード店など日常生活のシーンの中で使う英語に親しみました。同じグループの友達と話し合いながら与えられたミッションに臨んでいる様子がありました。「アクティブ・イマージョンエリア」では、英語でダンス、プログラミング、足音や雨音などの効果音の創作のいずれかを体験しました。初めは、英語だけの環境についていけるか不安を抱えている様子もありましたが、参加していた子供たちは楽しみながら活動に取り組んでいました。

今後も、何事にも挑戦する姿勢を大切にしていきたいと思えます。

感染症対策も
バッチリで
安心でした。



英語のみで会話に
挑戦！
エージェントと